

科目名	電子政府と情報通信
担当者	縣 公一郎
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	<p>本講義の目的は、現代社会において進展しつつある電子政府のあり方を、具体的実情に即して論及することにある。その際特に、電子政府の進展を促してきた情報通信分野のあり方にもスポットを当てたい。総務省等、複数の政策担当者を招聘講師にお招きし、課題設定に基づいたグループワークを中心に実施し、具体的な政策提言を提示していきたい。具体的なテーマは、以下の通りである。</p> <p>ケーススタディーA（第一クール）  「国民本位の電子行政サービスに向けた取組」  内閣官房情報通信技術（IT）担当室 内閣参事官 井上知義氏、同室主幹 早田吉伸氏</p> <p>このケースでは、我が国における国民本位の電子行政サービスの実現に向けての取組状況を踏まえて、その課題及び克服方策等について検討を実施する。具体的には、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）における検討や国民ID制度の検討等を参考に、政策課題を明確化すると共に、その解決に向けてのグループワークを実施する。</p> <p>ケーススタディーB（第二クール）  「地域情報化政策の現状と今後の取組」  慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所准教授 高田義久氏</p> <p>このケースでは、情報通信技術を用いて、地域の絆を取り戻し活性化を進める地域情報化について、事例を取り上げつつ現状を概観する。それを踏まえて、そのような動向を国として促進していく政策について、これからの方向性などを広く考察していく。</p> <p>ケーススタディーC（第三クール）  「情報通信分野における国際競争力とその強化」  総務省人事・恩給局参事官、早稲田大学デジタル・ソサエティ研究所招聘研究員 田尻信行氏</p> <p>このケースでは、情報通信分野における我が国の国際競争力についての議論を概観しつつ、政府が行っている情報通信分野の国際競争力の強化のための取組みを取り上げ、その概要、課題、問題点等について考察する。</p>
授業の到達目標	設定される三つの課題に対し、グループワークを通じて解決策を提示する。

授業計画	(1) 基本講義 (2) 第一クール講義・課題設定 (3) グループワーク (4) 解決策提示・評価 (5) 総括議論 (6) 第二クール講義・課題設定 (7) グループワーク (8) 解決策提示・評価 (9) 総括議論 (10) 第三クール講義・課題設定 (11) グループワーク (12) 解決策提示・評価 (13) 総括議論 (14) 統括議論 (15) 統括議論	
教科書	特になし	
参考文献	適宜提示する	
成績評価方法	<b>割合</b>	<b>評価基準</b>
	試験 0%	
	レポート 0%	
	平常点評価 100%	グループワークにおける貢献と解決策の評価
	その他 0%	
関連 URL	適宜提示する	
備考		